

公立大学法人名古屋 大学二期中期目標期 兪孕 魯鹵

< 目次 >









## 1 全体評価

【全体的な実施状況】

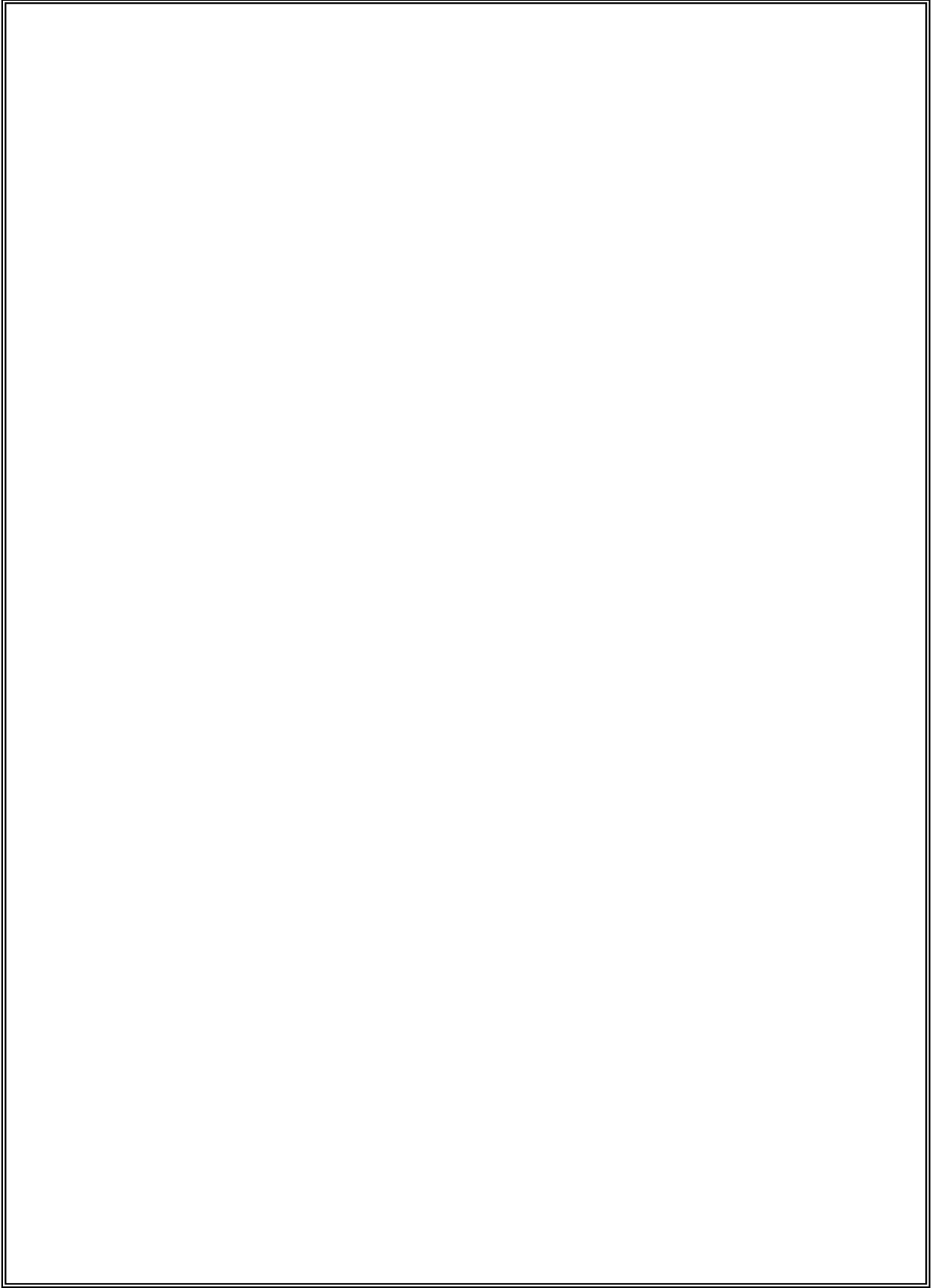
重点項目に対する主な取り組み

・高度急性期病院としての機能強化

平成 28 年度に高度急性期病院としての機能を強化するため手術室の増設工事を行い、4K



・(数值目標) 經常利益比率





## 2 項目別評価

### 大学の教育研究等の質の向上に関する項目

#### 第1 教育に関する項目

【評価結果】                      (参考)





学研究科において大学院入試の筆記試験の負担軽減を実施したことなどにより、全研究科の平均志願倍率及び平均入学定員充足率はともに毎年度 0.7 倍以上を確保していたことなどから、中期計画は達成されていると判断した。」

・ 卒業者（就職希望者）の就職率

---

目 標	【参考】 23	24	25	26	27	28	29
-----	------------	----	----	----	----	----	----

・医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師国家試験の新卒者合格率

目 標		【参考】 23	24	25	26	27	28	29
各年度	医 師	96.47%	100%	97.47%	96.6%	97.2%	97.3%	95.7%
100%	薬 剤 師	96.15%	89.29%	81.5%	81.0%	92.9%	91.1%	96.8%







数値目標の状況

- ・共同研究及び受託研究の件数（総契約数）

目 標                   【参考】

【評価にあたっての意見、指摘事項】

・文部科学省の共同利用・共同研究拠点への認定

医学研究科の不育症研究センター及び薬学研究科の創薬基盤科学研究所が文部科学省の共同利用・共同研究拠点として認定されたことは高く評価できる。

全学的な研究推進機関として、「研究戦略企画会議」及び「研究推進本部」を設置するとともに、学内外の研究の橋渡し役となるURAを配置するなど研究力の強化に全学をあげて取り組んでおり、さらなる成果が出ることを期待したい。

・科学研究費助成事業未申請の教員の比率

平成 23 年度に 17.8% であるが、前年度より増加している。また、研究費助成事業未申請の教員の比率は、平成 23 年度に 17.8% であるが、前年度より増加している。



数値目標の状況

・市民公開講座の受講者数

目 標

【参考】

#### 第4 大学の国際化に環楡者潜 处積 臍擘睗 y 皴 弁鬃砒 互好

・大学間交流協定数





















・女性教員比率

平成24年4月には19.8%であった女性教員比率は平成30年4月には22.5%となり2.7%増加したものの、依然として中期計画で掲げた27%は達成できていない。その原因を分析し

### 3 各年度における項目別評価結果の状況

#### 4 参考資料

##### 【委員名簿】(50音順)

氏 名	役 職 等
内田 淳正	三重大学 学長顧問
小笠原 剛	(株)三菱UFJ銀行 顧問